



令和6年度 張碓小学校グランドデザイン

日本国憲法・教育基本法
等に基づいた教育活動
小樽市教育推進計画

生きて働く力の育成

保護者・地域の想い
に応える学校教育

学校教育目標

・学習にはげむ子ども ・礼儀正しい子ども ・健康な子ども

■令和6年度の重点目標■

「自他の良さを大切に、学び合う児童の育成」

◎自分の考えと相手の考えを合わせて、より良い考えを導き出せる子ども

キーワード

「共通のゴールを目指すチームに！」

学習にはげむ子ども（知）

- 一人一台端末を効果的に活用した授業作り
- *全校で統一性のある授業展開
(インプット・アウトプットの重視)
- *基礎・基本の確かな定着

礼儀正しい子ども（徳）

- *生徒指導の3機能を生かした指導
- *自己肯定感・自己有用感の向上
- *互いを思いやる言動
- *いじめをしない・させない

健康な子ども（体）

- *年間を通じた体力向上
- *新体カテストを活用した授業改善
(「張碓元気アップ大作戦」の活用)
- *健康、安全意識の育成と実践
- *タイムマネジメント力の向上

重点的な取組

教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

子どもを主語にした学びの
実現へ向けた授業改善

一人一人に丁寧に目
を向けた生徒指導の充実

「チーム力」を生かした持続
可能な学校運営の推進

小中一貫教育の推進 (9年間の学びをつなぐ)

- ・銭函地区4校で連携した教科担任制や授業交流
- ・児童会、生徒会を中心とした児童・生徒の交流
- ・教職員間の連携による児童・生徒理解の充実

家庭・地域との連携

- ・銭函地区「学校運営協議会」との連携
- ・保護者と連携した家庭学習習慣・読書週間の定着
- ・タイムマネジメント力の向上
- ・地域人材、教育資源を生かした教育活動の推進

一人一人を大切にした **「温かな学校」**

全体への配慮を厚くした **「安定した学級経営」**

